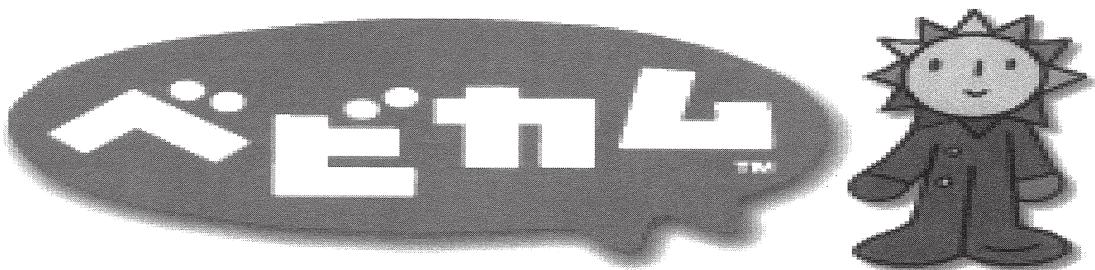




慶應義塾大学ビジネス・スクール

ベビー・カム・トゥルー (ベビカム online)

5



10

妊娠・出産・子育てを応援するコミュニティ

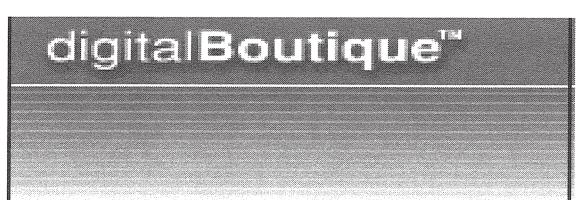
15

妊娠、出産、育児の情報提供サービス「ベビー・カム・トゥルー」。略して「ベビカム・プロジェクト」を事業の柱に据えた、若い母親を対象とした無料のコミュニティ・サイト「ベビカム online」(以下、ベビカム)¹⁾がある。「ベビカム・プロジェクト」は、「インターネットなどを利用した特定分野向けのオンライン・コミュニティの企画、運営を中心に活動し、オンライン上での心地よいコミュニティのあり方を追求し、コミュニティの中でのマーケティングなどのビジネスを推進する」、株式会社デジタル・ブティック(digital Boutique, Inc.)²⁾の一事業である。

20

<株式会社デジタルブティック>

25



「デジタルブティック」。安西正育社長(43)は、その社名に「専門店」という意味を込めた。

30

「『デパート』には1日に何万人、何十万人もの顧客が来るかもしれません。でも、その顧客同士が話をしたりコミュニケーションを取り合ったりすることはほとんどありません。それに対して、専門店(ブティック)に来る人は共通の趣味や悩みを持っています。だから、店員や顧客との深いコミュニケーションを持ちたい顧客が集うのです。そこでは、顧客同士そして店員と顧客との間で深い会話も成立しコミュニティが形成され、その中の人々に喜びが生まれます。コミュニティ・サイトの成否を決めるのは、コミュニケーションです。」

35

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程における特別実習の成果としてまとめられたものであり、経営管理に関する適切あるいは不適切な処理を例示することを意図したものではない。ケース作成は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科和田充夫教授の指導の下に、同研究科博士課程諫畠晴美が行った。なお、本ケースの作成にあたり、株式会社デジタルブティック社長、安西正育氏より多大なるご協力をいただいた。記して謝したい。(2002年5月作成)